2005年度の報告

NTTデータグループの2005年度環境負荷データ

環境データ			数量	単位
紙資源対策	紙総使用量（純正パルプ紙、再生紙を含む）		1,598	t
		事務用紙	1,312	t
		お客様サービス（チラシ、パンフレット、取扱説明書など）	286	t
	紙総使用量における純正パルプ量		436	t
		事務用紙	324	t
		お客様サービス（チラシ、パンフレット、取扱説明書など）	112	t
温暖化対策	温室効果ガス排出量（CO_2換算）		304,714	t-CO_2
	二酸化炭素（CO_2）の排出量		303,366※	t-CO_2
		電気の使用に伴う排出	274,592	t-CO_2
		ガス・燃料の使用に伴う排出	26,872	t-CO_2
		社用車の走行に伴う排出	1,902	t-CO_2
	メタン（CH_4）の排出量		7	t-CO_2
		運輸（自動車・船舶）	7	t-CO_2
	一酸化二窒素（N_2O）の排出量		125	t-CO_2
		各種炉	13	t-CO_2
		運輸（自動車・船舶）	112	t-CO_2
	ハイドロフルオロカーボン（HFC）の排出量		1,216	t-CO_2
	低公害車の保有台数		761	台
		ハイブリッド車	3	台
		低燃費かつ低排出ガス認定車（ガソリン車）	724	台
		その他	34	台
	当期の低公害車の導入台数		6	台
		ハイブリッド車	2	台
		低燃費かつ低排出ガス認定車（ガソリン車）	4	台
	再生可能／新エネルギーシステムの設置台数		1	台
		コジェネレーション（CGS）	1	台
	再生可能／新エネルギーシステムの発電量		31,459,540	kWh
		コジェネレーション（CGS）	31,459,540	kWh
廃棄物対策	特別管理産業廃棄物			
		当期アスベスト排出量（建物）	7	t
		アスベスト残数量（建物）	44	t
	PCB含有製品の使用／保管			
		トランス	12	個
		進相コンデンサ	1	個
		安定器	52	個
		廃油	419	リットル
オゾン層保護	特定フロン使用空調機の使用			
		特定フロン（CFC）使用空調機の使用台数	46	台
		空調機用特定フロン（CFC）の使用量	16,922	kg
		〃　（HCFC）の使用量	18,179	kg
		〃　（HFC）の使用量	7,470	kg
資源使用	エネルギー使用量			
		電力購入量	483,550,619	kWh
		灯油	33,430	リットル
		軽油（社用車除く）	102,564	リットル
		A～C重油	227,504	リットル
		都市ガス	12,455,543	m^3
		ガソリン・社用車用	790,055	リットル
		軽油・社用車用	26,018	リットル
	水資源使用量		1,544,683	m^3
		上水使用量	852,322	m^3
		下水使用量	655,313	m^3
		中水使用量	37,048	m^3
グリーン調達／グリーン購入	グリーン調達			
		企業体制評価数	437	社
	グリーン購入			
		事務用品の購買リストに占めるエコ商品の数	2,291	個
		事務用品の購買品目総数	17,264	個
環境地域貢献	環境貢献			
		環境クリーン作戦開催件数	26	件
		環境クリーン作戦参加者数	329	人

※ 2006年3月の地球温暖化対策推進法の改正により、電力使用量からCO_2排出量への換算係数が、0.378kg/kWh（2004年度）から0.555kg/kWh（2005年度）へ変更になりました。
CO_2排出量 303,366t-CO_2：換算係数を前年と同等にした場合、206,617t-CO_2となります。

■オフィス廃棄物量

単位：kg

大分類	中分類	リサイクル量	廃棄処分量		総排出量	最終処分量
			焼却	埋立		
A分類（可燃）	紙・プラスチック・厨芥混合ゴミ	215,213	244,263	227,770	687,246	252,196
	上質紙	1,395,305	252	0	1,395,557	25
	新聞紙・雑誌・ダンボール類	372,938	5,727	0	378,665	573
	厨芥類	480	590,321	8,625	599,426	67,657
	紙くずゴミ	286,956	260,452	1,044	548,452	27,089
	プラスチック（可燃）	13,247	15,663	15,938	44,848	17,504
	廃油	5,135	600	20	5,755	80
B分類（不燃）	ビン	34,318	0	353	34,671	353
	カン	80,224	0	500	80,724	500
	プラスチック	30,443	755	24,073	55,271	24,149
	その他不燃ゴミ	701	1,888	11,348	13,937	11,537
C分類（産業廃棄物）	OA・什器・その他	1,265,946	37,099	59,834	1,362,879	63,544

■環境法規則

環境データ			数量	単位
環境法令順守	**省エネ法**			
		電気使用量：1200万kWh／年以上の事業所数	9	ヵ所
		燃料等使用量（原油換算）：3000kL／年以上事業所数	1	ヵ所
		電気使用量：600万kWh／年以上の事業所数	7	ヵ所
		燃料等使用量（原油換算）：1500kL／年以上事業所数	1	ヵ所
	大気汚染防止法			
		煤煙発生施設 設置事業所数	5	ヵ所
		伝熱面積10m^{2}以上のボイラー設置事業所数	1	ヵ所
		伝熱面積10m^{2}以上のボイラー設置施設数	1	個
	水質汚濁防止法			
		貯油施設等の数	41	個
	下水道法			
		排水50m^3／日以上の事業所数	11	ヵ所
	PCリサイクル法（NTTブランドPC（ex.サザンクロス、OZFAなど）の同法対応状況）			
		PCリサイクル台数	585	件

【集計範囲：NTTデータ・グループ72社（国内のみ対象）】

環境会計

2005年度のNTTデータグループの環境コストは、投資額で1.3億円、費用で11.9億円となっています。

事業エリア内コストの費用では、当社が保有するビルの改築・改装に5割を占めています。

特にアスベスト対策費が1億円規模になっています。

管理活動費用は、昨年に続き2億円を超える額となり、ISO14001の認証取得範囲の拡大とともに、増加しています。

研究開発コストについては、大規模情報収集検索技術等の研究開発により、前年度より費用が増加しています。

■環境会計 保全コスト

単位：百万円

環境省ガイドライン分類		主な取組み	2005年度	
			投資	費用
事業エリア内コスト			123.5	521.2
	公害防止コスト	アスベスト対策・PCB管理等	5.5	103.2
	地球環境保全コスト	外気冷房装置の導入によるCO_2排出量削減対策等	23.2	1.6
	資源循環コスト	建築工事廃棄物対策・オフィス内廃棄物処理等	94.8	416.4
上・下流コスト		容器包装リサイクル法対応	0.0	0.3
管理活動コスト		ISO認証取得・環境保全活動にかかる人件費等	0.0	258.2
研究開発コスト		環境関連研究開発	5.4	411.3
社会活動コスト		地域社会への貢献	0.0	0.2
合計			128.9	1,191.2

◆対象期間：2005.4.1〜2006.3.31
◆集計方法：環境省の環境会計ガイドライン及びNTTグループの環境会計ガイドラインに準拠
◆集計範囲：NTTデータ・グループ72社（国内のみ対象）

内部環境監査

NTTデータグループにおける内部環境監査では、各組織の仕組みがISO14001の規格に適合し、PDCAが機能しているかを確認するとともに、エコ・プロモータによって各職場における紙・ゴミ・電気の削減などの状況を確認するという2方向からの監査を行うことにより、NTTデータグループ全体の環境保護活動の一層の向上を目指しています。

【監査結果】

- **第1回**

対象：　NTTデータ　18組織9ビル、グループ会社　11社
評価結果：重大4件、軽微18件、観察51件、推奨10件

- **第2回**

対象：　NTTデータ　13組織7ビル、グループ会社　2社
評価結果：重大0件、軽微10件、観察14件、推奨15件

内部環境監査のレベルアップを目指し、様々な施策を行ってきました。

【主な施策】

1.内部環境監査員の教育の体系化

・年2回の内部監査の前後に行う事前・事後ミーティングにあわせて、内部監査員、エコ・プロモータの教育を実施

2.「内部環境監査所見報告書」のフォーマット見直し

・ISO14001の2004年版への移行に対応して変更
・所見の指摘内容を内部監査員同士でチェックする欄を追加
・指摘事項だけでなく推奨すべき事項を残すための欄を追加
・環境に配意したシステム開発の定量評価の実施状況の確認欄の追加

3.「基本動作チェック表」のフォーマット見直し

内部監査員・エコプロモータ主導で、大幅な見直しを実施
・監査しやすいように分類を再整理
・マニフェスト管理について、法的要求事項であるため最重要項目とした